

最新

# 日本语能力测试

## 1级考点 透析与突破

### 语法

根据能力测试出题基准

「最新修订版」编写

涵盖能力测试1级真题全部语法项

主审 ◆ 彭广陆(中) 中崎温子(日)

主编 ◆ 朱丽颖 阎雪雯



# 最新日本語能力测试 1 级考点透析与突破

## 语 法

主 审	彭广陆(中)	中崎温子(日)
主 编	朱丽颖	阎雪雯
副主编	周桂香	曲凤鸣
	刘 倩	符 策
	刘 峰	

大连出版社

©朱丽颖 阎雪雯 2006

### 图书在版编目(CIP)数据

最新日本語能力测试1级考点透析与突破·语法/朱丽颖,阎雪雯主编. —大连:  
大连出版社,2006.5

ISBN 7-80684-374-4

I. 最... II. ①朱... ②阎... III. 日语—语法—水平考试—自学参考资料  
IV. H360.41

中国版本图书馆CIP数据核字(2006)第034403号

责任编辑:李岩 代勇

封面设计:林洋

版式设计:李岩

责任校对:王恒田

---

出版发行者:大连出版社

地址:大连市西岗区长白街10号

邮编:116011

电话:0411-83620941 0411-83621147

传真:0411-83610391

http://www.dlpress.com

E-mail:cbs@dl.gov.cn

印刷者:大连理工印刷有限公司

经销者:各地新华书店

---

幅面尺寸:185 mm×260 mm 1/16

印张:13.5

字数:260千字

出版时间:2006年5月第1版

印刷时间:2006年5月第1次印刷

印数:1~10000册

定价:19.80元

---

日本語能力测试(JLPT)是由日本国际交流基金会及日本国际教育协会于1984年建立的一套较为完整的考试评价体系,并于同年开始在有关国家和地区实施,到目前,世界上共有39个国家和地区的100个城市举办了该项考试。

在我国这项考试由教育部考试中心组织和实施。该考试每年举办一次,在全国18个省(自治区、直辖市)的21个城市设有32个考点,于12月的第一个星期日上午实施。考试分1、2、3、4共四个级别。每个级别的考试又分为[文字·語彙][聴解][読解·文法]三部分,成绩合格者在得到由日本国际交流基金会颁发的合格证书的同时,也就拥有了到日本学习深造的必要条件和进入日资企业的钥匙。

随着该项测试在全国范围内影响的扩大,参加日本語能力测试的人员数十倍增加,相关的教材和参考书也越来越多。因此,学习者和读者对各种应试辅导用书的要求也越来越高了。虽然市面上已出版了不少有关能力测试方面的用书,但由于诸多原因还远不能满足广大日语学习者和应试者的实际需要,在这种情况下,我们特组织国内外专家,针对目前国内市场上同类图书内容之不足,在总结多年教学实践经验、广泛搜集国内外权威信息资料的基础上,根据国际交流基金会公布的《日本語能力测试出题基准(最新修订版)》和日本語能力测试历年真题,编写了这套专门用于日本語能力测试考前冲刺的辅导用书。

该套书共9本,分别是:

- ① 《最新日本語能力测试1级考点透析与突破·文字词汇》
- ② 《最新日本語能力测试1级考点透析与突破·语法》
- ③ 《最新日本語能力测试1级考点透析与突破·读解》
- ④ 《最新日本語能力测试1级考点透析与突破·聴解》
- ⑤ 《最新日本語能力测试2级考点透析与突破·文字词汇》
- ⑥ 《最新日本語能力测试2级考点透析与突破·语法》
- ⑦ 《最新日本語能力测试2级考点透析与突破·读解》
- ⑧ 《最新日本語能力测试2级考点透析与突破·聴解》
- ⑨ 《最新日本語能力测试3级考点透析与突破·综合训练》

这套书的主要特点是内容新、有权威性。由北京外国语大学、北京大学、大连外国语学院、大连海事大学等几所高等院校具有丰富日语教学经验的著名学者和专家编写而成,并由北大外院日语系博士生导师彭广陆教授和日本的中崎温子教授担任主审。该套书不是单纯的考点说明和考试对策问题集,而是以帮助学习者在最短的时间内掌握日本语能力测试所需要的语法、词汇、读解和听解为目的。我们在编写过程中参照了日本语能力测试历年真题、日本语能力出题基准中全部的文字词汇、语法、读解及听解内容,根据不同的意义,按照不同的分类形式,进行分类辨析、讲解,来解决广大考生临考前不知道从何处着手、令考生头痛的疑难问题。相信这套书会成为你考前冲刺的得力助手。

本书为《最新日本语能力测试1级考点透析与突破·语法》,编者精心归纳、整理了1级能力测试中常出现、易混淆、难区分的语法现象,并逐一进行了详尽的解说和辨析,使考生能在较短的时间内系统地掌握1级语法。为了解说方便,本书特将1级语法现象及句型等按其所表达的意义归类,如时间类、因果关系类、逆顺接续类等。解说力求简明扼要、通俗易懂。对用法相近、容易混淆的语法现象,以辨析的形式进行透析讲解,此外,还有针对性地找出历年真题所涉及到的2000年前后1级语法考点的变化与不同,总结出考试的最新动向,并且各章都附有[及时强化练习]和[实战问题],书后还附有考前冲刺仿真测试题,便于检查学习效果。本书既可作为各级考生的自学复习用书,也可作为教师的考前辅导用书,还可以用做各类水平日语学习者的语法参考用书。最后,我们全体编者祝各位日语学习者考试顺利。

编者

2006年5月

■第一部分 语法考点透析 .....	1
一. 接续词 .....	1
二. 敬语表达方式 .....	24
三. 接头词、接尾词难点辨析 .....	34
■第二部分 句型考点透析 .....	46
一. 目的 .....	46
二. 原因、理由 .....	48
三. 时间 .....	58
四. 添加、附带关系 .....	64
五. 逆接 .....	70
六. 关联 .....	79
七. 并列 .....	87
八. 强调、限定 .....	90
九. 接续表现 .....	103
十. 否定表现 .....	107
十一. 状态样子 .....	114
十二. 传说、推量、条件 .....	122
1 级出题基准外历年考过的其他句型汇总 .....	127
1 级出题基准外历年考过的 2 级问题汇总 .....	140
■第三部分 考前冲刺仿真实践 .....	163
考前冲刺仿真测试一 .....	163
考前冲刺仿真测试二 .....	167
考前冲刺仿真测试三 .....	171
考前冲刺仿真测试四 .....	174
考前冲刺仿真测试五 .....	177
考前冲刺仿真测试六 .....	180
考前冲刺仿真测试七 .....	183
考前冲刺仿真测试八 .....	186
考前冲刺仿真测试九 .....	189
考前冲刺仿真测试十 .....	192
考前冲刺仿真测试十一 .....	195
考前冲刺仿真测试十二 .....	198
考前冲刺仿真测试十三 .....	201
考前冲刺仿真测试十四 .....	204
考前冲刺仿真测试十五 .....	207

# 第一部分

## 语法考点透析

### 一 接续词

接续词根据词意可分为：顺接、逆接、并列、添加、选择、说明和话题转换。

#### ◆ 顺接

##### ① 上文表示原因、理由，下文表示结果

(1) だから/因为……所以……

▶ 雨になりそうだ。だからピクニックはやめよう。(好像要下雨了,所以郊游停止吧。)

注:下文表示「当然の結果」。下文可以使用命令、意志、劝诱。

(2) その結果/其结果

▶ 毎日練習した。その結果、できるようになった。(每天练习。其结果,会了。)

注:口语、书面语都可以使用,但是语言表达较生硬。一般在句尾与完了形「～した」相呼应,只客观地叙述已经发生的事态。

(3) したがって/从而,因而

▶ 明日は午後から先生方の会議がある。したがって、授業は午前中までだ。(明天下午老师们开会,因此课上到中午为止。)

注:书面语,不强调理由,强调必然出现的结果。

(4) そのために/为此,因此

▶ 事故にあいました。そのために遅れてしまいました。(遇到了交通事故,因此迟到了。)

注:强调理由。谓语不能使用命令、意志、劝诱等,也可以使用「そのため」的形式。多围绕较大的事项客观地说明其因果关系,很少涉及私人琐事。

(5) それで/(承上启下)因为……所以……

▶ 飲みすぎだ。それで、頭が痛い。(因为喝多了,所以头痛。)

注:谓语不能使用命令、意志、劝诱、推量等。可以使用省略形式「で」的形式。此外「それで」也可以用于催促对方继续讲话。例:

▶ A:あとう、実は先生にお願いがあるのですが。

B:うん、いいよ、それで何?

(6)ゆえに/因为……所以……

▶外国人であるゆえに、特別あつかいされる。(因为是外国人,所以特殊对待。)

注:书面语,多用于写论文。

▶ 「したがって」「だから」「それで」的区别 ◀

三者都是表示因果关系的接续词,但不同的是:

①语义上,「だから」用于表示说话人主观上认定的原因、理由。因此,后句多伴有意志、命令或请求等表达方式。与此相反,「したがって」则用于表示理所当然的客观性因果关系,与说话人的意志无关。「それで」表示客观的因果关系,起承上启下的作用,所以下文不能使用意志、命令或请求等表达方式。

▶お盆で帰省する人が多いです。だから、今朝は電車ががらがらだった。(很多人都  
在盂兰盆节回乡省亲了,所以,今天早晨电车空荡荡的。)(○したがって)

▶彼に過失がない。したがって賠償責任はない。(他没有过失,因此没有赔偿的  
责任。)(×だから)

当结果与说话人当初预料相吻合时,「だから」可以表示「あなたの責任だ」等带有责怪对方的语气。此时前句可以省略。

▶「彼は酒気帯び運転で交通事故を起こしたようだ。」「だから、乗るなら飲むな、飲む  
なら乗るな、だよな。」「(听说他酒后驾车出了车祸。」「所以才说,开车别喝酒,喝酒别  
开车嘛!」)(×したがって)

▶すぐ帰ってきます。ですから、ここで待っていてください。(我马上回来,请在  
这儿等一下。)(×したがって)

▶食べすぎてしまった、それでおなかが苦しい。(因为吃多了,所以肚子难受。)(○だ  
から ×したがって)

②文本上,「だから」多用于较随便的口语,敬体为「ですから」;而「したがって」多用于  
论文、论证、公文等比较郑重的书面场合,敬体为「したがいまして」。「それで」表示理由时,  
后项不带有积极的语意。

② 話が発展する(扩展话题)

(1)すると/于是就,这么说,那么说

▶窓を開けた。すると、虫が入ってきた。(打开窗,于是虫子就进来了。)

▶今日は火曜日だね。するとあの店は休みだね。(今天是星期二,这么说那家商店休  
息啊。)

注:用于叙述客观事实和状态,谓语多用自动词。多用于书面语。

(2)そこで/因此,所以,于是

▶外が暗くなった。そこで電気をつけた。(外面黑了,于是打开了电灯。)

注:在某种状态下,有意识地做某事,下文谓语不能使用形容词,多用他动词。并且谓语  
不能使用命令、劝诱、意志、推量等。

(3)それで/那么,后来

▷「きのう彼とテニスをしたんだ。」「それでどっちが勝ったの。」(“昨天和他打网球了。”“后来谁赢了。”)

注:多用于「会話で相手の話を次から次へと聞き出すとき。」

(4) それでは/那么,那就,那样的话,那么说

▷「暑いですね。」「それでは窓を開けましょう。」(“真热啊。”“那么就打开窗吧。”)

注:从文 A 的内容判断文 B 是表达说话人的意志、提案等。

(5) それなら/那么,那样的话

▷「明日は都合が悪いんです。」「それならあさってはどうですか。」(“明天有事。”“那么后天如何?”)

注:和「それでは」可以对调使用。谓语不能用「～した」等完了形式。

### → 「すると」「そこで」「それで」「それでは」的區別 ←

四者都是表示扩展话题的接续词,但不同的是:

语义上,「すると」不能在后面叙述说话人意志性的动作。「そこで」后面能够叙述说话人意志性的行为、动作。

▷外が暗くなった。すると、街燈が自動的についた。(外面黑了,于是路灯自动打开。)

▷外が暗くなった。そこで電燈をつけた。(因为外面黑了,所以打开了电灯。)

「そこで」的意思是「ある状態の時に～をする」,前项不是理由的时候也可以使用。而「それで」的前项则必须是理由。

▷ドアのチャイムが鳴った。{そこで○  
それで○} ドアを開けた。(因为门铃响了,所以打开门。)

▷前奏がおわった。{それで×  
そこで○} 歌い始めてください。(前奏结束了,所以请你唱吧。)

「それで」的句末可以使用形容词,而「そこで」的句末则不能使用形容词,必须是动词句。

▷食べすぎてしまった。{それで○  
そこで×} おなかが苦しい。(因为吃多了,所以肚子难受。)

「それでは」用于听了对方的话后叙述自己的意见和判断。而「それで」则用于催促对方把话讲下去。

▷「あの人はイスラム教徒だそうですよ。」「それでは肉の料理は出さないほうがいいですね。」(“听说他是伊斯兰教徒。”“那么最好别上荤菜。”)

### ③ 上文表示结果、结论,下文表示原因、理由

なぜなら/为什么呢,其原因、理由是(多与「からだ」或「のだ」呼应使用)

▷出かけるのはやめよう。なぜなら、大雨になりそうだから。(别出门吧,为什么呢,因为好像要下雨。)

注:属书面语,多用于学术性的文章中。

(2) というのは/其原因(多与「からだ」或「のだ」呼应使用)

▷私はできるだけ歩くようにしているというのは運動不足だからです。(我尽量多

走一走,其原因是因为缺乏运动。)

注:多用于日常会话中,表示“后续的说明部分是既定事实的情况。”

(3)だって/话虽如此,因为

▶「どうして会社をやめたの。」「だって、給料が安いんだもの。」「(“为什么辞掉公司的工作?”“因为工资太少了。”)」

注:(俗)对责难自己的人申述理由,表示反驳对方或表示不可能。多用于口语。常和终助词「もの」或「もん」搭配使用。

### ▶ 「というのは～からだ」「なぜなら(ば)～からだ」的区别 ◀

二者都有“这是因为……”之意。但不同的是:

①语义上,「というのは～からだ」一般多用于对已经成立的事项阐明其根据,因此后面的说明部分多为既定事实。「なぜなら(ば)～からだ」一般用来表示抽象事物、意见或未定的事实。

②文体上,「というのは～からだ」多用于会话中,郑重说法用「といいますのは～からだ」「と申しますのは～からだ」。而「なぜなら(ば)～からだ」多用于文章或郑重的讲话场合,一般不用于日常会话。

▶私は彼を信用していません。というのは彼は今までに何度も嘘をついてたことがありますから。(我不信他,因为至今他已经撒过好多次谎了。)(△なぜなら)

▶どんなに忙しくとも、予習と復習は怠るべきではない。なぜならば、勉強をすることが学生の仕事だから。(再忙也不能放松预习和复习,因为学生的任务就是学习。)(○というのは)

▶駅やレストランでのたばこは禁止すべきだ。なぜなら、たばこの煙は周囲の人にも害を与えるからだ。(车站、饭店应禁止吸烟,因为吸烟会给周围的人带来危害。)(○というのは)

▶子供たちが少し臆病になってきた。というのは、あなたがあんまりきびしすぎるからだ。(孩子们变得胆怯起来了,这是因为你太严厉了。)(×なぜなら)

## 及时强化练习

問題 次の文の下にあげた1・2・3の中からもっとも適当なものを選んで\_\_\_\_\_のところに記号しなさい。

(1)「頭が痛いんです。」「\_\_\_\_\_薬を飲みなさい。」

1. だから                      2. そこで                      3. それなら

(2)あの人は財産がたくさんある。\_\_\_\_\_お金には困らない。

1. したがって                      2. そのために                      3. というのは

(3)テレビをつけた。\_\_\_\_\_野球の試合をやっていた。

1. それでは                      2. その結果                      3. すると

(4)病気になった。\_\_\_\_\_学校を休んだ。

1. それで                      2. すると                      3. そこで
- (5) 欲しかったけれど買わなかった。\_\_\_\_\_高かったから。
1. それで                      2. なぜなら                      3. そのために
- (6) 彼はよく働いた。\_\_\_\_\_大金持ちになった。
1. その結果                      2. というのは                      3. それなら
- (7) 暑かった。\_\_\_\_\_エアコンをつけた。
1. すると                      2. そこで                      3. それなら
- (8) 「会社をやめたんだ。」「本当? \_\_\_\_\_これからどうするんだい。」
1. だって                      2. そのために                      3. それで

▶▶ 正解 | 3 1 3 1 2 1 2 3

### ◆ 逆接

#### ① 表示和上文相反的内容和不同的内容

(1) しかし/但是

▶ 一生懸命勉強した。しかし、テストの結果は悪かった。(虽然努力学习了,但是考试结果还是不好。)

(2) けれども/然而,但是,可是

▶ 彼は丈夫そうに見える。けれどもよく病気をする。(他虽然看起来很健康,但是经常得病。)

注:表示语气委婉的逆态,意为“……说得有道理,但是……”,因此在一般的日常会话中,比「しかし」更为常用。

(3) だけど/但是,可是

▶ 日常会話はできます。たけど、難しい話はよくわかりません。(会日常会话,但是不懂太难的会话。)

注:和「けれども」大体意思相同,多用于和朋友或家里人交谈时。

(4) だが/但是,可是

▶ 彼は必ず電話すると言った。だが電話はかかってこなかった。(他说他一定来电话,但是没来。)

注:书面语。

(5) ところが/可是,然而

▶ 野球を見ようと思い、テレビをつけた。ところが雨で試合は中止だった。(我想看棒球,打开了电视,但是因雨比赛中止。)

注:下文不使用意志动词,并且不能使用命令、劝诱、推量、意志等结句。表示与自己的预想、期待相悖。

#### ▶ 「しかし」「ところが」的区别 ◀

二者都是接续词,表示逆接。但不同的是:

①「しかし」在承接前项后,提出与前项所述内容相反或部分不同的内容,形成对照性的事项,并根据前项,提出说话人的意见、看法等。

②「ところが」表示出乎说话人的预料,背离了听话人根据前项内容所能预想到的结果,含有惊讶的语气。它提示某种意外的情况,下面以「ところが」连接的句子都有意外性。

▶彼に会いに行った。しかし、彼はいなかった。(我去看他,可是他没在家。)(○ところが)

▶彼のことを父に聞いてみた。ところが、彼はもう日本にはいないらしい。(向父亲打听有关他的事情,却听说他已不在日本了。)(×しかし)

▶旅行に行く時間も金もある、しかし、健康が許さない。(去旅行的时间和费用都有,然而健康情况却不允许。)(×ところが)

▶姉は甘い物が好きです。しかし、弟は辛い物が好きです。(姐姐喜欢吃甜食,可是弟弟愿意吃辣的。)(○ところが)

▶大いに期待して見に行った。ところが、全然面白くなかった。(我们抱着很大的期望去看了,可是一点儿意思都没有。)(△しかし)

▶時間になったので家を出た。ところが、私の留守中に友だちが訪ねてきたらしい。(到时间就离开了家。不过,在我出门的时候好像有朋友来过。)(×しかし)

## ② 多用于表示和所预想的相反的内容

(1)それなのに/尽管(那样)……可是……

▶よく勉強している。それなのに成績はちっとも上がらない。(好好学习了,尽管如此,可成绩一点儿也没提高。)

注:多数用于表示谴责、非难、不满等心情。谓语仅限于事实,不能使用命令、劝诱、推量、意志等。

(2)それにしては/举出某一事情为例,相当于汉语的“照……来说”之意

▶銀座のレストランは高い。それにしては、あの店は安いです。(银座的西餐馆价格贵,照那样来说那家店便宜。)

注:多用于实际与预想差距特别大时。也可以用「体言+にしては」的形式。

▶スミスさんはアメリカ人にしては背が低いほうです。(就史密斯是美国人来说个子矮了点儿。)

(3)それが/可是,但是

▶朝からとてもいい天気だった。それが、午後から急に雨が降ってきた。(早上曾是非常好的天气,但是下午突然下起了雨。)

注:多用于感到意外的场合。不用于书面语。

(4)それにもかかわらず/尽管那样,可是

▶山田さんはお酒の飲みすぎで病気になった。それにもかかわらず、まだ毎晩お酒を飲んでいる。(山田因饮酒过量而病倒了,尽管如此每晚还喝。)

注:也用「～にもかかわらず」的形式。

▶雨天にもかかわらず、試合は行われた。(虽然是雨天,但比赛还是进行了。)

注:主要用于判断、评价等,带有客观陈述的语气。

③ 多用于「文 Aの内容は認めるがそれに反する内容や自分の判断を言う」場合

(1)でも/可是,不过

▶かぜをひいて頭が痛い。でも、学校を休むほどじゃない。(感冒头痛,可是并没达到向学校请假休息的程度。)

注:是极具感情色彩的词语,前后项之间不需要逻辑关系,多用于辩解疑问或表示事态的发生并非出于本意等。

(2)それでも/尽管如此,可是

▶たばこが体に悪いということはよくわかっている。それでもどうしてもやめられない。(明明知道烟对身体有害,但是怎么也戒不了。)

注:既可以用于既定条件,也可以用于假定条件。

(3)それにしても/即使是那样

▶日本の物価はとても高い。それにしても土地のねだんは高すぎる。(日本的物价非常贵,即使是那样土地的价格也太贵了。)

注:多用于感觉实际情况超过原有的预想、期待。当感觉实际情况与原有的预想、期待相反时用「それにしては」。

(4)ところが/然而……,可是……

▶彼の家を訪ねたところが、留守だったので帰ってきた。(去拜访了他家,但是他不在,所以就回来了。)

(5)ところで/即便……,纵令……

▶今からどんなに走ったところで、絶対に間に合いません。(现在无论怎么跑,也来不及了。)

(6)ところが/别说……而……,非但……,岂止……

▶独身どころか、子供も三人ある。(非但独身,已有三个孩子了。)

▶天気予報は晴れると言っていたが、晴れるどころか大雨になった。(天气预报说是晴天,可是非但不是晴天还下起了大雨。)

(7)ながら(も)/虽然是……,但是……

▶山田さんはお金がないと言いながら(も)、よく買物をする。(山田总说没钱,但是经常买东西。)

(8)つつ(も)/虽然是……,但是……

注:和「ながら(も)」意思相同,是书面语。

▶してはいけないと思いつつ、やっちゃって後悔している。(明知不许做但还是做了,很后悔。)

(9)ものの/とはいうものの/虽然……但是……

表示某件事物按道理推断本应如此,但事实并非如此。

▶一人で出来るとはいうものの、時間がかかるだろう。(虽然一个人能做,但是很费时间吧。)

▶着物を買ったものの、なかなか着て行く機会がない。(虽然买了和服,但是总也没有机会穿。)

(10)ものを/……就好了……可是……却……

表示说话人的悔恨、惋惜、不满、谴责、后悔、遗憾等。

▶ やればできるものをどうしてやらないんですか。(要是干就好了,可为什么不干呢?)

▶ 今でさえ人手が余っているものを、また新しい人を雇うなんて。(现在人手就过剩,却还要雇新人……)

(11)くせに/そのくせに/然而……,却……

表示前因后果不符合逻辑,逆态接续,用于表示指责、蔑视、意外、不满等心情时,前后项为同一主语,主语必须是人(多为个人)。

▶ 山田さんにきいたけれど、知っているくせに教えてくれないんです。(我问过山田,他明知道,却不告诉我。)

▶ 彼は何も手伝わなかった。そのくせ文句ばかり言っている。(他一点儿不帮忙,相反还发牢骚。)

(12)からといって/虽说是……,(不能因为)就……

▶ 大学に行かないからといって、頭がわるいとはいえない。(虽说没能上大学,但是不能说笨。)

▶ かわいいからといって、子供を甘やかすのはよくない。(不能因为可爱而娇惯孩子。)

▶ 「しかし」「けれども」「が」「ものの」「ところが」「それなのに」的區別 ◀

都是表示逆态接续的接续词,但不同的是:

①「しかし」用于前后两项明显相互矛盾或对比的情况;还可以表示与前项不同的添加内容,并且在文中的位置可随意调换。

▶ この本はおもしろい。 { それなのに× }  
 { ところが × } 値段が高い。(这本书虽然有趣,但价格贵。)  
 { しかし ○ }

▶ 故郷のたたずまいは、この十年の間にすっかり変わってしまった。しかし、そこに住む人の心は以前と同じように優しくかった。

故郷のたたずまいは、この十年間にすっかり変わってしまった。そこに住む人の心は、しかし、以前と同じように優しくかった。(故乡的自然景观近十年完全变了,但是居住在此地的人们的心灵依旧善良。)

②「～が、しかし」可一起并列使用。「～が、けれども」「～が、ところが」则不能并列使用。

▶ 成人病予防の食事は塩味も足りなくて、まずい病人食というイメージが

{ 伴うが、しかし ○ }  
{ 伴うが、けれども × } 最近は研究も進み、おいしい食事で成人病を防ぐというふ  
{ 伴うが、ところが × }

うに変わってきた。(预防成人病的食物咸味不足,给人的印象是难吃的病人餐,可是最近研究出能预防成人病的美味的食物。)

③「が/けれども」接于活用词终止形后,表示顺接或逆接。前后两项内容相反或成为对比。口语、书面语都可以使用。

▶電車は混んでいた $\left\{\begin{array}{l} \text{が} \quad \text{○} \\ \text{けれども} \quad \text{○} \end{array}\right\}$ さいわい私は腰掛けることができました。(电车很挤,但幸好我得到个座位。/车也拥挤我总算找个座。)

④「が」と「けれども」相比,「が」的语气稍强,「けれども」语气较缓和、客气。因此,在书面语、论文中多用「が」,而在敬体文章中多用「けれども」。口语中,男子多用「が」,女子多用「けれども」。

⑤「けれども」「が」可以接在会话的句末,以一种反语的语气表达「そうならばいい」的愿望或某些不便直接当面提出的要求。多以「けど」的形式出现,用于亲朋好友间的交谈。

▶家がもっと広いと自分の部屋がもてるんです $\left\{\begin{array}{l} \text{けど。} \quad \text{○} \\ \text{が。} \quad \text{○} \\ \text{ところが/しかし。} \quad \times \end{array}\right\}$ (如果房间再大一些的话我想有自己的房间。)

▶今日は用事があるんです $\left\{\begin{array}{l} \text{が。} \quad \text{○} \\ \text{けど。} \quad \text{○} \\ \text{しかし/ところが。} \quad \times \end{array}\right\}$ (因为今天有事……)

⑥「ところが」常用于意想不到的事态。含有意外、惊讶的语气。并且后面句中不但不能出现意志、希望、命令、推测。而且也不能使用意志性动词。

▶あの人も知らないかもしれない。 $\left\{\begin{array}{l} \text{しかし} \quad \text{○} \\ \text{けれども} \quad \text{○} \\ \text{が} \quad \text{○} \\ \text{ところが} \quad \times \end{array}\right\}$ 聞いてみよう。(那位也许不知道,但是问问吧?)

▶合格はかなり難しそうだ。 $\left\{\begin{array}{l} \text{ところが} \quad \times \\ \text{しかし} \quad \text{○} \\ \text{けれども} \quad \text{○} \end{array}\right\}$ 挑戦してみたい。(好像很难及格,但我还是要挑战一下。)

⑦「それなのに」的后句往往是违反常理的或不如意的事态,含有不满的语感。

▶彼は金持ちだ $\left\{\begin{array}{l} \text{それなのに} \quad \text{○} \\ \text{しかし} \quad \times \\ \text{ところが} \quad \times \end{array}\right\}$ 何もくれない。(他虽是富翁,但什么也不给我。)

⑧「ものの」是一种比较陈旧的说法,口语中较少使用。它接在活用词连体形后面,表示姑且承认前项事实,但细加考虑存在后项问题,后项多为消极或否定的内容,并带有遗憾的语气。从文体来看,只用在简体表达中。

▶買ってはみたものの、柄が気に入らない。(买是买了,但花色不如意。)

▶引き受けはしたものの、どうしたらいいか分からない。(虽然答应下来了,但是不知道应该怎样做才好。)

### ▶ 「つつ」「ながら」的区别 ◀

二者都可以接动词连用形后,都有“一边……一边……”(顺接)和“虽然……但是……”(逆接)之意。但不同的是:

①文体上,「つつ」是较大的书面语;而「ながら」是口语,使用范围广。

②接续上,「つつ」接在动词的连用形后面。「ながら」表示单纯接续时,接在动词的连用形后面;表示逆态接续时,可以接在动词的连用形、形容词终止形、形容动词词干、体言等后面。

▶この会議では個々の問題点を検討しつつ、今後の発展の方向を探っていきたいと思います。(我想在这次会议上研究存在的问题,同时探讨今后的发展方向。)(○ながら)

▶夏休みの間、勉強しなければいけないと思いつつ、毎日遊んで過ごしてしまった。(暑假期间本想好好学习,可是每天还是玩这玩那地过来了。)(○ながら)

▶音楽を聞きながら、勉強や仕事をする人のことを「ながら族」という。(把一边听音乐、一边学习或工作的人叫做“一心二用的人”。)(○つつ)

▶地震に対する不安を抱きながらも、日本人としては日本に住み続けるしかない。(虽然对地震感到不安,但作为日本人只好居住在日本。)(○つつも)

▶彼は若いながら、よく物事をわきまえている。(他虽然年轻,但辨别是非的能力却很强。)(×つつ)

▶難しい問題ながら、学生の半数は解くことができた。(问题虽然很难,但还是有一半的学生做出来了。)(×つつ)

▶残念ながらご依頼に応じかねます。(很遗憾,我不能答应你的要求。)

### ▶ 「のに」「くせに」的区别 ◀

二者都表示逆态接续,但不同的是:

①接续上,「のに」接在用言连体形或「体言+な」后面,「くせに」接在用言连体形或「体言+の」后面。

而且「のに」前后两项既可以是同一主体又可以是两个不同的主体;「くせに」前后两项多为同一主体,且此主体为非第一人称的其他人称。

②语义上,「のに」通常在前项提出某一主体的状态或行动,而在后项却出现了出乎前项意料的情况(积极和消极均可),除了含有不满、责怪的意思之外,有时还含有惋惜、遗憾的意思。

③文体上,「のに」不仅可以用于日常会话,还可以用于郑重的谈话或文章里。适用范围较广。「くせに」后项多为消极的内容,不满、责怪或轻蔑的语气远比「のに」要强。多用于日常会话,很少用于郑重的谈话或文章里。

▶大学を出たのに、こんなやさしいことも分からないのか。(大学都毕业了,难道连这么简单的问题都搞不懂吗?)(○くせに)

▶もう一時間も待っていたのに、彼はまだ来ない。(已经等了一个多小时了,他还没来。)(主体不同 ×くせに)

▶内田さんは相当な経験者なのに、初心者のように謙虚に学んでいる。(虽然内田经验颇为丰富,但却像一个新手一样虚心学习。)(含有赞扬的语气 ×くせに)

▶そんなに熱心に練習したのに、試合に負けてしまった。(他那么刻苦学习,可在比赛时还是输了。)(表示惋惜、遗憾 ×くせに)

及 时 强 化 练 习

問題 次の文の下にあげた1・2・3の中からもっとも適当なものを選んで\_\_\_\_\_のところに記号しなさい。

- (1)道はすいている。\_\_\_\_\_バスはちっとも来ない。  
 1. それなのに                      2. そこで                      3. それにしても
- (2)その選手は医者から運動を禁止された。\_\_\_\_\_彼は練習を続けている。  
 1. それにもかかわらず      2. それにしては              3. それにしても
- (3)毎日よく日本語を勉強している。\_\_\_\_\_なかなかうまく話せない。  
 1. そのために                      2. それでも                      3. そこで
- (4)「田中さん遅いね。」「遅れるって電話があったよ。」「ああ、そう。\_\_\_\_\_遅いね。」  
 1. それにしても                  2. それにしては                  3. それなのに
- (5)肉は好きだ。\_\_\_\_\_魚はきらいだ。  
 1. だが                                  2. それにもかかわらず      3. それでも
- (6)「ダイエットしているんだ。」「\_\_\_\_\_ちっともやせないね。」  
 1. それで                              2. というのは                      3. それにしては
- (7)あのポクサーは強そうに見えた。\_\_\_\_\_すぐに負けてしまった。  
 1. その結果                          2. それにしても                  3. ところが
- (8)やってもできないと思う。\_\_\_\_\_一応やってみよう。  
 1. それにもかかわらず      2. だけど                          3. ところが
- (9)生徒が来ないのではここにいた\_\_\_\_\_意味がない。  
 1. ところで                          2. ところが                          3. ところか
- (10)薬を飲んだのになおる\_\_\_\_\_よけいにひどくなった。  
 1. ところで                          2. ところが                          3. ところか
- (11)部長に電話した\_\_\_\_\_会議中で話すことができませんでした。  
 1. ところで                          2. ところが                          3. ところか
- (12)タバコは体に悪いと知り\_\_\_\_\_吸ってしまう。  
 1. つつ                                  2. ものの                          3. ものを
- (13)歩いて行けばよかった\_\_\_\_\_バスで行ってかえって時間がかかった。  
 1. ものの                              2. ものを                          3. からといって
- (14)知り合いの人から切符をもらったから来てみた。\_\_\_\_\_本当は来たくなかった。  
 1. くせに                              2. ものを                          3. ものの
- (15)あの先生は女にはやさしい\_\_\_\_\_男にはとても厳しい。  
 1. ものを                              2. くせに                          3. からといって
- (16)安い\_\_\_\_\_そんなにたくさん買ってどうするんですか。  
 1. ものの                              2. くせに                          3. からといって

▶▶▶ 正解 1 1 2 1 1 3 3 2 1 3 2 1 2 3 2 3